

雲の上のまち



広報

けすばら



吉田尚人町長初登庁(12月21日 梶原町役場総合庁舎前)

新年のあいさつ <P2~>

外出からはじめる介護予防 <P12~>

梶原町長選挙・梶原町議会議員補欠選挙結果 <P13>

etc...

新年号

2018 <平成30年>
No.715

●世帯数/1,813 (11月末)
●人口/3,636 (11月末)

謹んで新年のお祝いを申し上げます

昨年は大変お世話になりましたがとうございました
本年もよろしくお願い申し上げます
平成三十年 元旦

梶原町長 吉田 尚人



矢野町政2期8年間の最終年度の始まりを間近に控えた昨年3月22日、3期目に立候補しないという矢野富夫前町長の意向表明は、梶原町のみならず県内の他自治体は言うに及ばず、国や県の関係機関に至るまで大きな驚きを呼び起こしました。

そうした中で、副町長として仕えてきた不肖、私が12月21日に町長として就任させていただきました。

微力ではございますが、これまで歴代町長が町議会の皆さんをはじめとする町民の皆様とともに、全国を代表する取り組みを行ってこられたことに心から敬意と感謝を申し上げますと同時に、その功績を汚すことなく、町民の皆様が幸福に暮らせるよう精一杯努めてまいりますので町民の皆様におかれましては、ご指導とご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

5月末に副町長の職を辞し、6

カ月の間、多くの皆様のご支援をいただきながら、これまで副町長としてお世話になった皆様にお礼のご挨拶に伺い、皆様の思いも聞かせていただきました。

厳しい環境の中でお過ごしの方、移動手段の確保にお困りの方や一人暮らしで体調を崩したらどうしようかと心配されている高齢者、職場でつらい思いをしていらっしゃる方や子育てに悩みを抱えていらっしゃるお母さんなど様々なお話を伺うことができました。中でも多かったのが、「若者が地元で就職できず、都会へ出ていかざるを得ない状況を何とかしてほしい。出て行った子供たちが戻ってこれるようにしてほしい。」といった職場の創出と雇用の確保に関することでした。

皆様の様々なお話を伺い、改めて「町民の皆様一人ひとりがそれぞれの生きがいや幸福感を感じ、安心して安全に暮らせる町づくり」に全力で取り組みたいと考え

ました。

命の道の整備や危険個所の解消は、安心して暮らすための基盤整備としてこれまで同様しっかりと取り組んでまいります。

私たちはいつ病気にかかり、けがに遭遇し、障害を持つかわかりません。自分だけでなく家族がそうなる場合もあります。個人の努力で乗り越えられないつらい立場になった時、必要な支援を受けられるよう、社会福祉協議会などと連携して『福祉の充実』を図ります。

たくましく根をはった子どもたちを育てるため教育の充実に努めます。それを支える家庭や地域の安定のため生涯学習の充実に努めます。

安心して暮らせるためには、生活基盤の安定が基本であり、新たな加工産業の導入を図り、一次産業の六次産業化に取り組みます。

梶原町の宝は、津野経高公の入植以来、「京の文化」と「長く厳しい雪との戦い」に育まれた勤勉性と辛抱強さを身に付けた梶原の「人」と風土であると考えています。

坂本龍馬が同志を頼って脱藩の道として選び、宮本常一先生や司馬遼太郎先生が愛した梶原を50年、100年先に引き継いでいくため、

人間力にあふれる「梶原人」の育成に取り組みます。

また、これまで歴代町長が取り組んできた流れを継続しつつ、「現状維持」ではなく、良きものは伸ばし、改めるべきは果敢に改めていき、次の時代に向けて「進化」を遂げていきたいと考えております。本町は、全国的にもまれな多くの取り組みを行ってきております。これらの取り組みを資産として磨きをかけ、見直すべきは見直し、新たに生まれようとしている資産を町民のために生かしてまいります。

皆様の思いをくみ取り、「信頼と和」をキーワードとして、穏やかな風がやさしく流れるように風通しが良く、様々な意見が出しあえる笑顔あふれる町づくりに取り組んでまいります。

これまで歴代首長にお寄せいただいたと同様のご高配を賜りますようお願い申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

梶原町役場

町長 吉田 尚人
副町長 久保 栄八

外職員 一同
監査委員 山口 敏
川上 寿久

新春のおよろこびを申し上げます

本年が皆様方にとりまして、健康で思いが叶う
良き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。
平成三十年 元旦

前栲原町長 矢野 富夫



（離任のごあいさつ）

私こと、昨年12月20日をもつて任期満了を迎え栲原町長を離れました。振り返りますと、平成21年12月、中越武義様の後を受け、第四代栲原町長に就任以来、2期8年にわたり、栲原町政を担当させていただきました。

その間、町民の皆様方はもとより、「ゆすはら未来大使」をはじめ町外の方の皆様方の身に余るご支援ご協力により、浅学非才な私に対しましてご指導をいただきまして、その職を全うすることができました。これはひとえに、皆様が私を支えていただいたお蔭であり、心から深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

私は、この栲原が好きであり、この栲原で一生過ごしたい。そして、家族から地域まで、栲原の社会に残っている「絆」を大切に、この地で生きるための不安の解消に全力で取り組んでまいりました。ご存じのとおり、私の基本は「自立」であります。自立ということの意味は、自分で完結することではなく、周囲と様々な関係構築、資金の提供を受け、それに見合う価値を生み出している状態のことです。その価値とは、

財貨のみのことではなく、人が役に立っていると思う物やサービスのことであります。

そして「自分でできることは自分でする」ことを基本に、地域資源を生かしながら、人と人の絆を大切に活力あるまちづくりを目指してまいりました。

そうした中で、様々な不祥事を起こすこととなり町民の皆様や関係者の方々の信頼を裏切ることとなったことに対しまして、その責任は全て私にあり、トップとして心から深くお詫び申し上げます。議会からの提言や第三者委員会の答申を踏まえて職員と一丸となり信頼回復に全力で取り組んでおりますので、役場に対しまして変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。

しかし、一方で悲願でありました町道佐渡鷹取線の着手をはじめ国道・県道の完成・着手と命の道の整備が大きく進んでまいりました。

また、飲料水の整備において一戸でも支援するとの思いで要望箇所全て完成いたしました。

また家の裏などのがけ崩れ住家対策、合併処理浄化槽の整備、空き家改修など安心する住環境の整備が着

実に進んでまいりました。

保幼小中高の一貫教育の充実、環境モデル都市の推進、保健・医療・福祉・介護の充実、栲原町社会福祉協議会・畜産公社の新たな立ち上げ、日本初のジビエカー（移動式解体処理車）の導入、六つの区全てに集落活動センターを開所しました。

そして、学生への奨学金の充実、小中一貫教育の確立、一貫教育センター及び産業担い手育成塾を立ち上げて、人材の育成に努めながら、町民の皆さんと策定した第六次栲原町総合振興計画に沿って着実に取り組んでまいりました。

こうしたこれまでの取り組みが、成果となり、この過疎の町で平成25年から人口の社会動態はプラスに転じて、人口減少に大きく歯止めがかかりはじまりました。

そして、大きな節目であります町制施行五十周年記念事業を行い、過去に学び新しい栲原を創造してスタートいたしました。

こうしたことができましたのも、町民の皆様方はもとより国内外の多くの方々が共に考え、共に行動し言葉では表しきれないご支援ご協力があつてのことです。

また、陰に陽にご支援賜りました歴代議長を始め、各議員、役場職員の日ごろの努力の結果であり、改めて心からお礼申し上げます。

新たに、吉田尚人町長が、将来の栲原を託され誕生いたしました。

大きく変化する社会をしっかりと捉えて、今日までの豊富な行政経験

と郵便局長という民間経営を踏まえた「みんなが生きがいと幸せを感じられる町」を目指して、今まで培ってきた人と人のつながり、人と人の信頼を大切に、町勢発展のために全力を傾注されることを確信しております。

どうか、皆様方には、私にいただきました以上のご支援ご協力をお願い申し上げます。

今後は、一町民として、今までいいただきましたご恩に報いてまいりたいと考えておりますので、お気軽にお声をかけていただきますようお願いいたします。

栲原町の限らない発展と皆様方のご健勝ご多幸を心からお祈り申し上げます。今日までのご支援ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



未来へバトンタッチ

謹んで新年お祝い申し上げます

皆様におかれましては希望に満ちた新春を穏やかに
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平成三十年 元旦

梶原町議会議長 土釜 清



平成30年の年頭に当たり、梶原町議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様、あけましておめでとうございます。平成30年の新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから町議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて私事ですが、昨年5月の臨時会において、引き続き議長の仕事を務めさせていただくことになりました。町民にとって、身近で開かれた議会、信頼される、品格と存在感のある議会、町民の代表機関としての役割と将来に対して責任の持てる議会に向けて議会基本条例をもとに議会改革に取り組んでいきたいと思っっている所存であります。

昨年12月には、2期8年その重責を担われた矢野町長が退任され、吉田町長が誕生しました。ま

た、欠員であった1名の新議員も決まりました。今後においては、行政・議会が切磋琢磨し、改革に取り組み、町政発展と住民福祉の向上に取り組みなければならぬと決意を新たに致しました。

ここで昨年を振り返ってみますと、海外においては、北朝鮮ミサイル発射実験、各地域でのテロ事件など社会情勢が不安定な1年であり、国内に目を向けますと、森友、加計学園問題、企業のデータ改ざん等、偽装も多い年でありましたが、私たちはありのままの梶原町議会議員8人の役割と責任の重さを自覚し、町政をとりまく環境の変化を的確に捉えながら、議員の価値を考え、みつめかえす機会になった年であったと思っております。

また、大川村においては、町村総会を検討という、決して他人事ではないニュースも飛び込んできました。このことは全国的にも衝撃をあたえた出来事でありまし

た。

本町においてはなんといいつつも、まだ記憶に新しいことと思えますが、梶原高校野球部の夏の甲子園県予選で決勝戦に進出し、惜しくも準優勝ではありましたが、いつの日か梶原町民悲願の甲子園出場という快挙を期待しているところでもあります。

結びにあたり今後とも、町民の皆様への負託に応えられるよう、心を一つに英知を集結して、町政発展に精力的に臨んでまいりますので、変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

町民の皆様にとりまして、本年が輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

梶原町議会

議長 土釜 清
副議長 市川 岩 亀

議会運営委員会

委員長 二宮 近 雄
副委員長 川上 寿 久
委員 下元 秀 俊
" 中岡 俊 輔
" 中越 計 清
" 西川 慶 男

総務教育厚生常任委員会

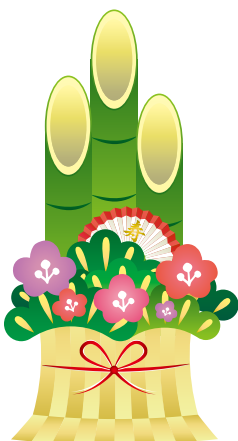
委員長 西川 慶 男
副委員長 二宮 近 雄
委員 川上 寿 久
" 土釜 清
" 市川 岩 亀

産業建設常任委員会

委員長 下元 秀 俊
副委員長 中岡 俊 輔
委員 土釜 清
" 市川 岩 亀
" 中越 計 清

議会広報編集委員会

委員長 中岡 俊 輔
副委員長 下元 秀 俊
委員 川上 寿 久
" 二宮 近 雄
" 市川 岩 亀
" 中越 計 清
" 西川 慶 男



謹んで新年のお慶びを申し上げます

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平成三十年 元旦

榑原町教育委員会 教育長 矢野 準 也



旧年中は本町の教育行政にご支援・ご協力賜りまして、厚く感謝申し上げます。

このたび私こと、12月26日の臨時議会におきまして、議会の同意をいただき1月1日付で教育長に就任をいたしました。

平成12年に役場職員に採用されて以来、町民の皆様には何かとお世話になりありがとうございます。誠心誠意取り組んでまいりますので、今後ともご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、第六次榑原町総合振興計画の六つの目指す社会の中の「自信あふれる榑原人を育てる教育の確立した社会」並びに「人の尊厳が守られ絆を大切に作る社会」の実現に向けた取り組みの一つとして、町内全域を学びの場として位置付けた「ゆすはら丸ごと図書館」づくりに向け、昨年は新しい図書館と榑原町の未来について考え、また皆さんの意見をお聞きする半年前祭を開催するなど、開館に向けて準備を重ねてまいりました。そして、いよいよ今年の5月にはオープン運びとなりました。地域の皆さんに愛される図書館となるよう努めてまいりますので今後ともよろしく願います。

そして、榑原学園では、小中一貫教育の取り組みも7年目を迎え、4・3・1・2のまとまりを大切にしながら9年間の系統的な教育の構築を目指し取り組んでおります。

昨年は、高知県より外国語教育コア・エリア実践研究指定事業の指定を受け、小学校の英語教育の主体的な推進体制の整備を行い、年間7回にわたって推進会議を開催するなど、小中連携による英語教育の充実に向けて取り組みました。

また、中学生の夏休みの海外研修については、高幡広域市町村圏事務組合主催のオーストラリア研修に加えまして、町単独事業も行いました。昨年は、テロの発生等の世界情勢を踏まえ例年のイギリス研修を変更してオーストラリアでの研修を実施し、生徒の英語力向上とコミュニケーション能力を身に付けるために努めてまいりました。また、外国語指導助手を保幼小中学校へ配置し、英語に親しみ、英語力の定着と向上に向けた取り組みを進めてまいりました。

更に、小学5年生以上の児童生徒一人ひとりにタブレット端末を購入し、ICT機器を最大限活用して授業に生かす学力向上に向けて取り組みました。

幼児教育に関しては、「幼保連携型認定こども園」を設置して3年目となり、これまで同様に保育料・幼稚園授業料・給食費の無料化に併せて、開所時間の延長など、子育て支援の充実に取り組みました。

また、幼小連携教育を推進するため、幼児教育アドバイザーとして日向國雄氏にお越しいただき、これまでの経験も生かしながら榑原型の幼児教育にご尽力いただいております。

小学校とこども園との教職員の相互職場体験研修を通して、お互いの情報交換の場や機会を持ち、子どもたちの実態、課題等の情報の共有化を図っています。このように人間力の育成に向けて取り組み、小学校就学へと繋げる「学びの連続性」を確保していくよう取り組んでおります。

一貫教育支援センターを設置して5年目となり、引き続き小中一貫教育の推進、幼児教育の推進、社会教育の推進に取り組んでまいりました。榑原高校では、中高連携のもと、教員がお互いに授業交流をしたり、高校生と幼児と一緒に農業体験を行ったり、保育実習を行ったり、地域に根ざした取り組みを行っております。

また、中高が連携し高校卒業後の大学進学まで意識した取り組みとして、中学3年生を対象に高校でも実施している英語・数学の外部講師による学習支援事業をあわせて実施しました。

また、国際人育成のための海外留学制度を活用し、昨年より1名が海外で研修しております。

更に、野球部が全国高校野球高知大会において準優勝という快挙をおさめ、デイスカパーククラブにおいては様々な行事への参加は元より宮城県で開催された全国高等学校総合文化祭へ出場するなど地域の文化継承に努め、またアーチェリー部が全国高校総体へ出場するなど、部活動においても大きな飛躍の年となり、地域に活力を与えてくれました。

生涯学習におきましては、生涯を通して豊かな人生をおくるための学習、心身ともに健康をめざしたスポーツの推進、芸術・文化振興等の支援、各種社会教育団体への支援を行っております。

地域ぐるみでの取り組みである学校応援団の活動では、地域の皆様のご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。一昨年度から導入したコミュニケーションスクールにおいては、学校と地域が情報の共有ができるようになり、学校運営に協力と理解をいただくことができました。今後更に多くの地域の方々に学校に関心をもっていただき、地域の子どもたちを地域全体で育てていくことを目指して取り組んでまいりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

榑原町教育委員会

教育長 矢野 準 也
教育長職務代理 岩本 直 也
教育委員 掛橋 水 和

謹んで新年のお慶びを申し上げます

夢と希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。
平成三十年 元旦

高幡消防組合 梶原消防団 団長 森 田 耕 一



旧年中は、地域の皆様には梶原消防団、梶原町女性消防隊、少年消防クラブそして梶原こども園幼年消防クラブの活動への温かいご支援、ご協力を賜りまして、衷心より厚くお礼申し上げます。

また、団員・隊員の皆様には火災をはじめ各種の災害から地域の安心・安全を守るため昼夜を問わず日々献身的にご尽力いただき心から感謝申し上げます。さらに、日ごろ団員・隊員を影でご支援いただいているご家族の方々に對しましても心よりお礼申し上げます。

昨年の国内を振り返りますと、7月には九州北部豪雨が發生し土砂災害による建物の倒壊や半壊・浸水などの甚大な人的物的被害が發生しました。9月には台風18号による記録的な大雨となり土砂崩れや浸水などにより多くの被害をもたらしました。

昨年の災害により犠牲となられました方々に對しまして心よりご

冥福をお祈り申し上げます。

本町では、3月にビニールハウスが焼ける火災が發生しましたが、早期の発見・迅速な対応により部分焼に止める事ができました。4月には林野火災が發生しました。8月には車両火災が發生しましたが、初期消火により被害を最小限にする事ができました。9月には西の宮神社が燃える火災が發生しました。夜間ということで発見は遅れましたが周囲に被害がなかったことは幸いでした。同月台風による大雨で暗きよ詰まりが發生し住宅が浸水する被害もありました。

昨年の消防団及び女性消防隊の活動としては、2月5日出初式、4月2日入団式を行い、6名の新入団員を迎え、幹部に辞令交付を行いました。同じく4月には高知県消防大会が県民体育館で開催され、「消防庁長官表彰永年勤続功労章」1名、「日本消防協会

長表彰精績章」1名、「日本消防協会長表彰勤続章」2名、「高知県知事永年勤続功労章」3名、「高知県知事消防団員配偶者功労感謝状」2名の方々が受賞されました。同月29日、梶原消防団前団長長谷部悟氏が春の叙勲において瑞宝双光章を受章されました。誠に喜ばしいことであります。

7月2日、恒例の梶原消防団・女性消防隊連合演習を開催し、消防団員の日ごろの訓練成果を遺憾なく発揮しました。

8月26日、高陵消防連合演習が開催され、教練の部で第5分団、小型ポンプ操法の部で第3分団が優勝、ポンプ車操法の部で第1分団が3位入賞という成績を収めました。

10月8日、平成29年度高知県消防操法大会が開催され、梶原消防団から第3分団が出場し、3位入賞という栄光に輝きました。

消防団の装備充実につきましては、広野と久保谷の2カ所に40t防火水槽を新設、消防団の念願でありました消防会館の建替えが進んでおり、より安全で迅速な防火防災活動が可能となります。

本年も団員及び女性消防隊一丸となり、町民の皆様の生命及び財産を災害から守るため、皆様と連

携を図り安全で安心して暮らせる町づくりのために努めてまいりますので、なお一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、この一年が無火災と無災害でありますと共に町民の皆様のますますのご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

高幡消防組合梶原消防団

- 団 長 森 田 耕 一
- 副 団 長 玉 川 義 照
- 副 団 長 川 上 博 史
- 第一分団長 中 越 義 明
- 第二分団長 神 明 文 男
- 第三分団長 氏 原 悦 男
- 第四分団長 村 田 澄 夫
- 第五分団長 中 越 修 夫
- 消防主任 川 田 宙 大

梶原町女性消防隊

- 隊 長 川 上 まゆみ
- 副 隊 長 廣 瀬 吾 紀 子
- 書 記 西 村 典 子
- 会 計 西 村 麻 理 子

新春のおよろこびを申し上げます

昨年中は組合事業推進につきまして

ご支援ご協力賜りまして、深く感謝を申し上げます。

平成三十年 元旦

梶原町森林組合代表理事組合長 森 山 真 二



さて国におきましては、平成28年5月に森林法の一部を改正し、伐採後の再造林や深刻化する鳥獣害の防止といった森林資源の再造成の確保、また国産材の安定供給体制の構築に向け、森林組合等による施業の集約化を促進し、適切な森林施業を通じ林業の成長産業化を実現し、森林の公益的機能の維持増進を図ることを目的とした新たな森林・林業基本計画を5年ぶりに変更しました。本格的な利用段階に入った森林資源を活用し、山村等における就業機会の創出と所得水準の向上をもたらし産業へ転換すること、すなわち林業・木材産業の成長産業化を実現することが重要な課題であると明記をされました。この計画では資源の循環利用による林業の成長産業化、原木の安定供給体制の構築、木材産業の競争力強化と新たな木材需要の創出に向けた取り組みを推進し、林業・木材産業の成長を通じて地方創生への寄与を図るとともに、地球温暖化防止や生物多様性の保全の取り組みも推進する内容となりました。

このような状況から高知県では、県産木材の供給及び利用の促進に関する条例を制定し、これまでの木材利用促進に加えて、公共建築物の木材・木質化の推進を図る必要性から、3階建て以下の低層公共建築物

の木造化率について、潜在的な需要が期待できるとして、昨年8月には県森連と県木材協会の連名、各林業事務所単位の協力により県産木材の供給及び利用の促進について、各市町村長に促進要請を行いました。このことが、県内の林業及び木材産業の持続的な発展並びに森林の次世代への継承を実現し、さらには経済の活性化及び循環社会の形成に寄与することに期待をいたします。

また「森林環境税」の創設については、平成30年度税制改正において結論を得ることに踏まえて、森林組合系統としては、森林整備に必要な安定的な財源確保としての決議を行い、県森連とともに、各市町村長に、森林吸収源対策を確実に推進するため、地方創生にも繋がる新税の早期実現に向けた要請も行いました。このような経緯により、昨年12月には次期国会における森林関連法令の見直しを踏まえ、平成31年度税制改正において森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）を創設することとなり、新たな森林整備の財源確保となりました。

さて昨年の組合事業では、7月1日から8月13日まで町内44会場で実施しました各集落での説明会には、220名の参加をいただき、アンケートへのご協力や各事業に対しますご意

見やご要望をいただき、誠にありがとうございました。本年度の事業計画に反映させていただきました。これからの林業経営に役立ててまいります。

またFSC森林認証は、17年目を迎え、10月には、FM森林認証（認証面積113,422ha）及びCOC加工流通過程認証（森林価値創造工場）についての年次監査を受けました。引き続き自然環境に優しい森林整備の実践や持続可能な林業経営を目指し、FSCブランドによる梶原産材の販路拡大に努めてまいります。

販売事業では素材、ペレット原料の取扱量も順調に推移し、梶原町水源地域森林整備交付金が最終年度でもあり、平成29年度においても、10,000m³を超える原木取扱量となり、組合製材工場への原木供給、町外への素材販売も順調に進捗し、ゆすはらペレット工場の原材料供給も在庫ができるほどになりました。また、森林所有者においても、交付金助成により、材代、補助金を含めた総収入が増加し、間伐や原木搬出意欲の増大に繋がっております。

また、森林整備事業では、経営計画の最終年度でもあり、間伐下限に対する間伐の実施についても全計画区においてクリアできる見込みとなりました。また次年度に向けた経営計画への参加や、所有森林の相続や売買での名義の変更、また移転届け等による林家台帳の整理も行いました。

林産事業については、民間事業者の協力を得て、利用間伐に加えて皆伐を実施し、林産事業を拡充させ、販売事業への原木供給が拡大いたしました。また人材の確保・育成を進

めるとともに、林内路網の整備も実施してまいりました。

加工事業では、引き続き四国島内、関西地域の工務店などの販売を通じて、家族単位やバスツアーを受け入れ、伐採祈願祭や製材工場の見学会、また関西方面での工務店主催のセミナー等に参加し、安心・安全な梶原産材の営業販売を行い、製品市場が厳しい状況の中で一定の販路拡大に成果をあげることができました。

平成30年度においても、森林組合経営については、まだまだ人材育成を行い、森林経営計画に基づく集約化施業を進め、間伐や皆伐による木材の増産、そしてFSCブランドを活用した販売事業の強化・拡大を進めてまいります。

本年度も、引き続き厳しい状況が予想されますが、職員一同一致結束して事業を推進してまいりますので、組合員を始め関係機関の皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健康とご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。

梶原町森林組合

組合長理事	森 山 真 二
理 事	中 越 利 茂
〃	下 村 繁 男
〃	山 口 繁 敏
〃	吉 村 満 寿 夫
〃	竹 倉 茂 一
〃	山 本 浩 一
代 表 監 事	中 平 浩 一
監 事	片 岡 幸 一
〃	西 村 寿 勝
参 事	外 職 員 一 同

謹んで新年のお慶びを申し上げます

本年が皆様にとりまして、輝かしい一年でありますようお願い申し上げます。本年もよろしく願います。
平成三十年 元旦

梶原町商工会会長 長山和幸



町民の皆様には、日ごろより商工会活動にご協力くださり誠にありがとうございます。我が国経済は、企業収益が過去最高水準となり、雇用・所得環境が改善し、個人消費にも持ち直しの傾向がみられるなど、緩やかな回復が続いていると言われています。高知県でも都会とつながっている企業は、収益が増えていきます。しかしながら本町のような中山間地域では、全国に先行する人口減少や少子高齢化等に伴う経済規模の縮小や経営者自体の高齢化、後継者不足等、特に人手不足から小規模事業者の減少や企業活動の低迷など多くの課題を抱えています。

こうした厳しい状況の中、平成26年6月に小規模企業振興基本法が制定され、商工会は小規模事業者支援の中核拠点として、経営改善の促進、起業による新たな産業の創出や円滑な事業承継に向けた取り組みが求められています。さらには、第三期高知県産業振

興計画においては、商工会による事業者の経営計画策定支援を通じた、地域経済の活性化への取り組みが期待されています。

本町でも、そのような期待や課題解決に向けての取り組み、地域振興の一翼を担う取り組みを進めていかなければなりません。そのためには、商工会は、地域の事業者に寄り添った支援を推進する経営発達支援計画を策定するとともに、持続化補助金等の施策を活用し、事業者の持続的発展に尽力しなければなりません。併せて商工会組織の強化や職員の資質の向上を図り、これまで以上に地域の工業者、地域の皆様から信頼され、「実効性のある経営支援」や「活力ある梶原町」を目指し、さまざまな事業に取り組みで行きます。

特にその基本となるのは商工会会員の皆様を根幹とし、本町行政はもろろの事、地域の皆様とより一層の信頼関係を構築し、まずは商工会の現状やさまざまな取り

組み、他町村との違いを知っていただく事から始めたいと考えています。

その上に、観光事業は、さまざまな取り組みを行っている団体、個人と連携を密にし、一同に集った意見交換を重ね、情報の伝達や発信をする仕組みづくりを進めます。そしてこれからの観光協会設置に向けての取り組みや方向性を町と共に行います。今年も「志国高知幕末維新博」が平成31年3月末まで開催されます。来町いただくお客様に、梶原に来て良かったと言ってもらえる取り組みを進めてまいります。

また、さまざまな町行政施策、移住・定住対策を始め、将来にわたり本町に人が住み続けていく施策に行政と意見交換をしながら、区長会をはじめ各種団体の皆様とより一歩進んだつながりを持ち、地域振興に共に取り組んでまいります。

梶原町商工振興協同組合では、指定管理者として雲の上の施設群を運営しています。昨年は従業員接客指導を組合独自事業として年3回、ホテルで行いました。これからも、少しでもお客様に喜んでいただけるよう努力してまいります。学校給食や福祉施設での食

事を提供する事業も、食べた人も作っている人も喜んでいただけるよう取り組んでまいります。今後もしもより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。
今年一年が、本町で暮らしている全ての人が幸せでありますように。

梶原町商工会

- 会長 長山和幸
- 副会長 山本浩辰
- 理事 西岡利晃
- 西川陽子
- アウテンボーガルト千賀子
- 下元正八
- 中山博行
- 安井謙二
- 木下健一
- 上川健一
- 中越貞幸
- 中越哲臣
- 那須孝幸
- 戸梶一幸
- 戸梶一幸
- 中光寺俊和
- 外職員一同



各種団体・機関等 ※順不同

梶原町区長会

会長(四万川区) 空岡 則明
 副会長(初瀬区) 矢野 敬明
 区長(越知面区) 川上 光章
 〃(西区) 西村 建雄
 〃(松原区) 松山 榮喜
 区長代理(東区) 中越 薫

梶原町農業委員会

会長 山本 正澄
 会長職務代理 森田 呂弥
 委員 谷川 恵美
 農地利用最適化推進委員 上田 善啓
 〃 岡林 勝
 〃 高橋 正知
 〃 中平 勝也
 〃 川上 厚志

梶原町民生委員・児童委員協議会

会長 西村 正義
 副会長 高橋 勝也
 委員 竹倉 政恵
 〃 中越 泰子

梶原町選挙管理委員会

委員長 坂本 重男
 委員長職務代理 西村 茂則
 委員 西村 朗
 〃 中岡 倫

高幡消防組合津野山分署

分署長 下元 啓自
 副分署長 那須 章
 〃 西森 文啓
 外消防職員一同 西森 文啓

梶原町交通安全町民会議

会長 吉田 尚人
 副会長 土釜 清
 理事 長谷部 悟
 〃 山中 照亞
 〃 川上 壽雄
 〃 沖田 純輔
 〃 西森 峰雄
 〃 西森 建基
 〃 伊藤 一博

梶原町魚族保護会

会長 影浦 賢
 副会長 西村 要吉
 委員 村中 秀之
 〃 戸田勇次郎
 〃 山中 照亞
 〃 松浦 博務
 〃 木原 正利
 〃 明神 武美

交通安全指導員

戸梶 隆光
 中越 浩一
 坂本 重男
 中越 平
 中越 則明
 空岡 量
 岡田 悦子
 岩崎 健
 熊岡 佳奈
 二宮 豪佑
 山口 敏
 矢野 豪佑

社会福祉法人カリスト会

理事長 中越 平
 理事 空岡 則明
 〃 岩崎 悦子
 〃 熊岡 健
 〃 二宮 佳奈
 〃 山口 敏
 〃 矢野 豪佑

人権擁護委員

下元 一利
 中越 秀子
 中平 宏
 志手 功
 高橋 勝也
 市川 吉朗
 松山 榮喜
 片岡 幸作
 氏原 昇佐
 宮本 友和

梶原町保護司会

会長 志手 功
 委員 高橋 勝也
 〃 市川 吉朗
 〃 松山 榮喜
 〃 片岡 幸作
 〃 氏原 昇佐
 〃 宮本 友和

行政相談委員

中越 緑
 西川 慶男
 川上 寿久
 吉村 光義
 松山 虎光
 松山 薫
 氏原 昇佐

身体障害者相談員

宮本 友和
 高橋 栄子
 永橋 信弘
 西村 寿数
 川上 政志
 中岡 倫
 宮本千恵子
 田辺 良一

知的障害相談員

高橋 栄子
 永橋 信弘
 西村 寿数
 川上 政志
 中岡 倫
 宮本千恵子
 田辺 良一

梶原町衛生組織連合会

会長 永橋 信弘
 副会長 西村 寿数
 委員 川上 政志
 〃 中岡 倫
 〃 宮本千恵子
 〃 田辺 良一

健康文化の里づくり推進員

10期生会長 高橋 正知

梶原町手をつなぐ親の会

会長 高橋 正知

身体障害者連盟

会長 宮本 友和

戦没者遺族会

会長 中越 計清
 副会長 下元 保市
 婦人部長 明神 治子
 会計 西岡 一雄
 監事 川上 寿久
 〃 二宮 吉永

梶原町環境美化推進組合

組合長 藤原 良男
 副組合長兼会計 島崎 勝男
 理事 川村 善雄
 〃 岡村 聖司
 〃 神明 靖
 〃 西岡 利晃
 〃 中越 譽
 〃 中越 誠
 〃 岡林 勝
 〃 氏原 達子
 〃 久岡 亀一
 〃 若宮 康秀
 〃 中越 大善

梶原町広報委員会

委員長 上田 末喜
副委員長 石川 真帆
委員 中平 俊一
山崎恵利加
西村 幸美

梶原町人権教育研究協議会

会長 堅田 謙洋
副会長 高橋 志治
泉 理恵
奥崎 公太

梶原町体育会

会長 坂本 重男
梶原町青少年健全育成町民会議
会長 志手 功
副会長 矢野 準也

梶原町文化協会

会長 久岡 智子
副会長 影浦 賢
氏原 隼雄
二宮 幸加
高橋 正知
中越 磨子

高知県高幡食品衛生協会梶原分会

分会長 新谷 章男
よつば会
会長 中越 緑

(平成29年12月31日現在)

梶原学園校長

堅田 謙洋

梶原町青少年育成センター

所長 川田 忠久
専任指導員 志手 功

梶原ゲートボール連合会

会長 岩本 直也
副会長 杉坂 博
上田 夏美

梶原町エプロン会

(食生活改善推進協議会)
会長 中越 雅子

社会教育委員・公民館運営審議会

委員長 空岡 則明
副委員長 久岡 智子
委員 二宮 近雄
下元 秀俊
長山 和幸
中越 順市
堅田 謙洋
志手 功
矢野 準也
西村 正義
坂本 重男
堀 情二
山口真知子
二宮 健志
宮内 大輔

津野山神楽保存会

会長 吉田 尚人
副会長 掛橋興四郎
神明 靖
中越 計清
前田 稔
中越 定一
久保 栄八
矢野 準也
川上 寿久
中越 和仁

梶原町老人クラブ連合会

会長 中越 順市
副会長 山中 照亞
津野 壽正
田邊 盛幸
川田 節子
森山 定幸

一般社団法人津野山畜産公社

事務局次長兼センター長 佐竹 紀章
牧場長 永尾健一郎
職員 西森 勘介
中岡 芳高
川上 真澄
永尾 啓太
玉川伊代菜
西添智枝美

梶原町精神障害者家族会

会長 長山久美子

NPO法人 梶原竹ぼうきの会

理事長 中越 計清

NPO法人 絆

理事長 矢野 豪佑

シルバー人材センター

会長 掛橋 勤

梶原町文化財審議会

会長 西村 信明
副会長 神明 靖
委員 沖田 裕次
下村 和正
土谷 善昭
松山 榮喜

梶原町スポーツ推進委員

委員長 西村 俊二
副委員長 谷田 真吾
委員 氏原 昇佐
藤井 順
中平 則一
川田 篤史
氏原 哲哉

梶原町連合青年団

団長 堀 情二
副団長 下元 慶太
二神 貴登
高橋 元氣
山内 孝信

津野山広域事務組合

クリーンセンター四万十
職員 山下 正貴
下村 昭太

梶原町社会福祉協議会

会長 矢野 豪佑
副会長 中越 郁子
理事 中越 平
橋田 淳一
西村 正義
樋口 益也
山口 敏
高橋 正知

株式会社雲の上

工場長 大野喜美男
職員 中越 祥子
下村 秀仁

事務局

事務局長 山内 孝信

監事

高橋 正知

梶原学園だより VOL 67

う～みさんが

歌ってくれました。

12月11日(月) 須崎人権擁護委員協議会主催で人権の集い・人権コンサートを開催することができました。

1部は、人権の集いで、主催者挨拶、人権擁護委員の紹介、主な取り組みの紹介の後、7年生矢野ひかるさんが人権作文の発表をしました。

2部は、う～みさんの人権コンサートでした。う～みさんは、「ゆすはら♪」という歌を作ってくれたとても大切な人です。う～みさん



まもる君とあゆみちゃん登場

んは楽しく、あるときは笑いをさそいながら、自分の体験談を話したり、歌を歌ってくださいました。コンサートの中では、子どもたちとの対話や児童生徒がステージに上がり一緒に歌ったりと大盛り上がり。そのなにより、心が温かくなるコンサートでした。う～みさん、本当にありがとうございます。また、このような会を開催してくださいました。須崎人権擁護委員協議会の皆さん、ありがとうございました。



子どもたちと熱唱するう～みさん

1年～3年生が

救急救命法を学びました。

11月22日(水) 高幡消防組合津野山分署の方々に来ていただき、1年生から3年生が救急救命法の学習をしました。

子どもたちは、小さい手で心臓マッサージをしたり、すぐに大人を呼ぶことなどをしっかりと学んでいました。いつか、誰かを助けることができる素晴らしい梶原人になってほしいと思います。



心臓マッサージを練習する小学生

児童・生徒に知らせず

避難訓練を行いました。

12月6日(水) 13時28分、地震による火災が発生するという設定で、子どもたちに一切知らせずに避難訓練を行いました。子どもたち

ちは昼休みに、教室、体育館、図書室などいろんな場所にいたときに「地震・火災が発生!」という緊急放送で全員体育館に避難しました。(本来はグラウンドへ避難しますが前日の雨でグラウンドの階段が凍っていたり、ぬかるんでいたため今回のみ集合場所を体育館に変更しました。)

「生まれて初めて急な避難訓練でびっくりした」「放送を真剣に聞けなかった」などの感想がありました。地震はいつ起こるか分からないので、良い避難訓練になったと思います。体育館に避難後は、全体で避難することの大切さについて報告しました。そのときに梶原町の防災マップを掲示し、危険な場所も確認しました。



みんなで学習した梶原町防災マップ!

外出からはじめる介護予防 いきいき百歳体操をはじめませんか？

皆さん、介護予防という言葉を知っていますか？介護を受けてまだまだ先の話と聞いているのではないのでしょうか。それでは、今の生活を思い出してみてください。

- ちよつとした段差でつまづきようになつた
- 転ぶことが増えた
- 階段は手すりを使わないと上がるのがしんどくなつた
- 忘れ物や物を探すことが多くなつた

今までの生活では簡単にできていたことが少し難しいと感じることはありませんか？そんな日々の生活の中で難しいなと思つたときが介護予防を始めるタイミングです。
では、皆さん週に何回外出していますか？要介護状態になる原因としてといわれています。
元気で長生きな人に共通する合

言葉は「きょういく」と「きょうよう」です。

「きょういく」といっても「教育」ではなく

「今日、行く」ところがある

では「きょうよう」とは、もちろん「教養」ではなく「今日、用」がある

ということですよ。

介護予防のためには週3回外出することが良いと言われています。外出するということを意識的にしている人は少ないと思います。しかし、外出には多くの効果があります。

- ① 体力がつく（運動機能維持向上）
- ② 頭を働かせることができる（認知機能維持向上）
- ③ 気分転換ができる（うつ病予防）
- ④ 一人ではないことが分かる（孤独感の解消）
- ⑤ 自分の存在を周りの人に分かってもらえる（孤立化を防ぐ）



いきいき百歳体操の様子

などがあります。どこにも行かず、誰とも話をせず終わってしまう一日を過ごすのではなく、まず、誰かとおしゃべりに出かけてみませんか。現在、町内では11箇所できいき百歳体操を行っています。外出する場所の一つとして、いきいき百歳体操で身体を動かしてみませんか。



いきいき百歳体操を継続している住民からは「段差を手すりをもたずに上がれるようになった」「膝の痛みが楽になった」という言葉が出てきました。いきいき百歳体操の後には、みんなでお茶をしながらおしゃべりをしたりゲートボールをするなど、それぞれの地区で楽しく外出する場所を作り、運動も継続しています。

地区	場所	開催日	時間
越知面	越知面地域交流センター	第2・4火曜日	13:30
	太田戸集会所	第3土曜日	
四万川	東川集会所	毎週水曜日	
	茶や谷集会所	毎週木曜日	
	神の山集会所		
東区	後別当集会所	毎週火曜日	13:30
	まるうど館	週2回(火・金)	
	支援センター4階	毎週金曜日	19:30
大向集会所	13:30		
松原	中平	毎週金曜日	13:00
	松原ふれあいセンター		第2・4木曜日

いきいき百歳体操開催場所

【問合せ】
地域包括支援センター
(保健福祉支援センター内)

☎65-11170

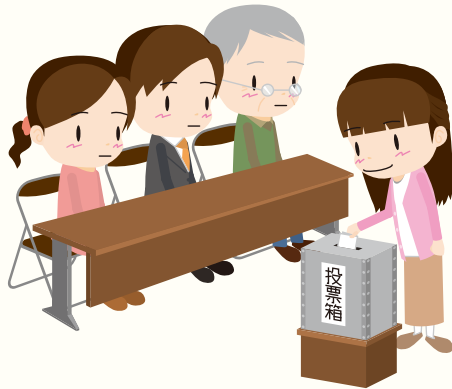
一人では始める介護予防は難しいかもしれませんが、みんなで一緒に介護予防に取り組んでみませんか。
いきいき百歳体操を新しく始めたい方や、みんなで集まる場所を作りたいと考えている方がおりましたら地域包括支援センターまでご相談ください。

梶原町長選挙

梶原町議会議員補欠選挙結果

任期満了に伴う梶原町長選挙及び梶原町議会議員補欠選挙が12月3日に行われました。

梶原町長選挙に立候補したのは、いずれも無所属の新人で、元同町副町長の吉田尚人氏と元同町議員の高橋基文氏。今限りで引退する現職の矢野富夫氏(二期目)の後任を選ぶ選挙で、移住促進や新施設の建設が進む中、人口減少対策や産業振興、行政運営の手法等を軸に論戦が繰り広げられました。20年ぶりの選挙戦に住民の関心も高く、



最終的な投票率は、85.43%となり、平成27年の同町議選の84%を超えました。現職議員の辞職に伴う梶原町議会議員補欠選挙は定数一人に対し2人が立候補を表明しました。投票結果は次のとおりです。

梶原町長選挙

吉田尚人 1535票
高橋基文 1153票

当日有権者数 3164人
当日投票者数 2703人
有効投票数 2688票
無効票 158票
投票率 85.43%

梶原町議会議員補欠選挙

中越計清 1583票
西川豊正 1012票

当日有権者数 3164人
当日投票者数 2702人
有効投票数 2595票
無効票 107票
投票率 85.40%

津野山神楽

「第18回地域伝統芸能まつり」

芸能まつり

出演決定

平成30年2月25日に東京都渋谷区のNHKホールで開催される「第18回地域伝統芸能まつり」に、梶原町の津野山神楽保存会が出演団体のひとつに選ばれ、出演することが決定しました。

この地域伝統芸能まつりは、日本各地の伝統芸能が一堂に会するイベントで、今年はテーマを「鬼」として日本各地から地域伝統芸能7演目が舞台で披露される予定です。今回は約2,500名の来場を予定しています。

参観の応募方法についてはHPをご覧ください。

<http://www.jaira.or.jp/matsuri/>



森林就業ガイダンスを開催します

林業の職場で働きたい方、林業に関心がある方を対象に、ガイダンスを開催します。県内の森林組合や林業会社（約20事業者）が参加予定です。仕事内容や待遇面などを直接相談できるいい機会ですので、ぜひ、ご参加ください。

日時 平成30年2月3日（土）
13時30分～16時

場所 高知商工会館 4階 光の間
（15時30分受付締切）

その他 申込不要・林業未経験者歓迎
（高知市本町1-6-24）

問合せ 高知県山村林業振興基金
高知県林業労働力確保
支援センター
☎0887-5710366

不動産に関する無料相談

高知県宅建協会では一般消費者を対象として、不動産・住まいに関する問題等について開催しております。

相談日 毎週火曜日・金曜日
受付 相談日の午前9時～16時
（電話受付不可）

時間 午後1時～受付順

場所 公益社団法人
高知県宅地建物取引業協会

住所 高知市上町1丁目9-1
☎088182312001（代）

※相談日には電話による相談（13時～16時）受けませんが、来所者を優先しますのでご注意ください。また、予告なく休業する場合がありますのでご了承願います。

2月の行事予定

- 10日（土）環境整備デイ
- 11日（日）梶原消防団・女性消防隊出初式
- 16日（金）所得申告受付開始
- 17日（土）梶原学園1～6年生学習発表会
- 20日（火）梶原町交通安全の日
- 21日（水）人権相談・行政相談

2月の保健福祉支援センター行事予定

- 2日（金）初瀬いきいき
- 5日（月）げらげら家族会
- 7日（水）松原サテライト
- 8日（木）越知面デイ友の会／四万川宅老所
- 16日（金）東区いきいき
- 21日（水）西区いきいき（下西の川）
人権・行政相談（梶原病院3階）
- 22日（木）四万川いきいき

○毎週水曜日…予防接種（四種混合、麻疹・風疹、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎）

○毎週水曜日…育児サークル（支援センター4F講義室）10時～12時
※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お母さんだけでもOK。是非参加してください。お待ちしております。

○月曜日～金曜日…子育て世代包括支援センター（支援センター1階）
※育児や子育てなど、相談がありましたら気軽においでください。（TELでも構いません。☎65-1170までお願いします）

○川畑 真理子 心理カウンセラー相談日…20日（火）、21日（水）
※相談希望の方は、健康増進係または子育て世代包括支援センター（☎65-1170）までお願いします。

○ゆすっ子相談センター相談日…6日（火）午後、13日（火）午後、20日（火）終日

文芸

えぼし俳句会

綿虫やふと途絶える物想ひ 岩元 美美
 枯柳お堀の鳥の首長し 古野 節子
 洗濯機も風呂も故障する十二月 下元 澄子
 枯菊に残れる色のありにけり ヒネ・バンビ
 十二月家計簿講座申し込む 宮崎真由子
 薄ら日の沼に膝折る枯蓮 宇都宮由利子
 偕老の歲月重し根深汁 中越 律子
 肉厚の湯呑ほどよし十二月 瀬戸口登貴恵
 付いてくる招かざる虫蒲団干し 西村 智子
 枯蔓を寄せ集めれば実の数多 温地あゆみ
 十二月やり残したる事多し 石丸 吉一
 笑ひつつスマホのし過ぎ枯木道 千光寺昭子
 朴枯葉真夜の静寂を破りけり 岩井 章子

杉の子俳句会

つややかな鏡餅なり子の頬っぺ 野中 胤雄
 辻立ちや雪割桜咲きにけり 影浦 鉄心
 鏡餅湯気立ち昇る棚田米 西村 幸枝
 鏡餅囲み床の間さんざめく 明神伊佐子
 地球儀をくるりと回し去年今年 川田 早苗
 とり逃ししし追ういぬや去年今年 大崎みなと
 年の瀬やポインセチアのあざやかさ 西村 蓉子
 寒すずめ風止むまでの藪の中 久岡 智子
 冬帽子茶堂の側の忠霊碑 掛橋 初子
 新米はとき汁さえも力あり 氏原 陽子
 飯食うてテレビ観て寝て年暮るる 下元 廣幸

柚子の木俳句会

掛け大根への字に曲がる漬け頃か 広瀬 みえ
 灯り消し師走満月歩みけり 西村由利子
 肩すばめ小走りの母冬しげれ 西森 誠子

霜柱地球の肌が荒れて見え

中平 忠雄

お礼肥しきわら落葉冬じたく

中越 緑

霜柱飾り置きたい盆の上

中越 郁子

海津見の鳥居の朱や雪明り

渡辺 瑞枝

タオル振る人に手を振る時雨かな

吉田 敬子

畝の溝打楽器となる霜柱

広瀬 卓雄

川柳

棄権には投票以上の意味もある
 八角が三角眼で土俵観る
 龍馬君虚像とともに姿消ゆ
 ゆす原人々

狂歌

モランボンロケット抱き雪ダルマ
 舞台の袖で可愛くみえたに
 ※モランボン＝北朝鮮の軽音楽団
 一年余何の沙汰なき猫婆
 忘却狙いか闇の深さか
 ゆす原人々

編集後記

新春のお慶びを申し上げます。昨年は広報をご愛読いただきありがとうございました。読みやすくわかりやすい広報にするよう努力いたしますので、本年もよろしく願います。2018年は、福祉施設及び図書館が完成します。だれもが安心して暮らせて、梶原の伝統と文化を大切に継承し、社会の変化に即応した発展が期待できる予感がする年の始まりです。

日本の人口は2025年には約1億1620万人に減少すると言われていきます。(今より1000万人程度減少) 地方では人口減少の影響を大きく受けます。梶原町はすでにこの問題に直面していますが、矢野前町長は、移住・定住促進事業を施策として打ち出し実践されたので、人口の減少に歯止めがかかりつつあります。これからは福祉の充実と教育内容の充実、雇用の充実が人口減少歯止めの鍵となります。生き甲斐が持て、住み心地のよい町であれば、住みたい人が増えます。このような町づくりには新図書館の果たす役割は大きく、学び、憩い、文化の継承・創造・発信の3本柱を有効に活用したいものです。町民の皆様にとって良い年であり、ますことをお祈りいたします。

梶原こども園だより

人権の花

12月1日(金)に人権擁護委員の皆さんが花を持ってきていただき、ホールでビオラの花を受け取り一緒に花を植えました。擁護委員の皆さんと一緒に植えてくれることで子どもたちも嬉しさを感じたり、好きな色の花を選んで自分の鉢に植えたりと、すずんで取り組む姿が見られました。花の成長を見ながら明るい気持ちになったり、自分の花を自分の手で育てていくことで子ども達の心を豊かにし、命について考えることへもつながっていくと思います。幼児期



きれいな花をありがとう



優しく教えてくれました

のころから人を大切にし、命あるものに思いやりの気持ちをもつ心が育ってほしいと願いながら、毎年行っている行事です。

子育て講演会

12月6日(水)は子育て講演会がありました。東京都文京区第一幼稚園園長の桶田ゆかり先生に講演をしていただきました。まず、自分が出会った子どもたちから学んだことをお話してくださったり、園の教育方針や保育と家庭でのつながりについてお話していただきました。また桶田先生の園の子ども様子を紹介しながら、環境を

通して様々なことが育っていることを話していただき、園としての役割、保護者の役割について理解できたように思います。子ども達の表情や行動から何を今経験して、何を楽しんでいるのかなと子ども達の思いに寄り添いの大事さを感じました。家庭と園で連携しながら一緒に子どもたちを育てていく大切さを学びました。貴重な講演会に多くの保護者の方や教育委員会の方、県の教育委員会、町外の先生方にも参加してもらいました。講演を聞き、「園で先生はこんなことを考えながらかか



講師 桶田ゆかり先生

わってくれているんだ、親はそれを知ったうえで家でのかわり方に役立てたいと思った」「子育てについてじっくり考える機会がなかったもので、日々のかかわりを振り返る良い機会になった」「言動は否定してもその子は否定してはいけないという言葉が心に残った」「親子コミュニケーションに取り入れていきたい」「今晚(講演会後)ギョッと抱きしめて話をいっぱい聞いてあげようと思った」等の感想を聞き、子育てを振り返ったり、今後の子育ての参考にして共に、頑張っていきたいなと思いました。



講演会の様子